



2022 年度検討テーマ

「安全で効率的な投薬プロセス」
投薬は複雑なプロセスから構成されているため、診療上のエラーが発生しやすい。
各施設における投薬プロセスを共有することで、自施設の安全向上に役立てていただくことを目的として活動した。

部会員一覧

(敬称略・五十音順)

◎＝部会長、○＝副部会長

赤木 晋介○	公益財団法人大原記念 倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
川井 信孝◎	埼玉医科大学国際医療 センター
菅野 浩	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院
佐藤 みづほ	独立行政法人国立病院 機構 甲府病院
佐藤 康弘	国家公務員共済組合連 合会 平塚共済病院
高橋 香織	社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院
宅和 真由美	パナソニック健康保険 組合 松下記念病院
塚原 みどり	伊勢崎市民病院
米倉 一郎	独立行政法人地域医療 機能推進機構 東京新 宿メディカルセンター

活動報告

アンケート・セミナーの実施

- ・「投薬エラーの防止に関するアンケート」実施
- ・薬剤安全セミナー 「投薬プロセス」
10月15日開催（シンポジウム形式、オンライン開催）
> [開催報告](#) / [後日配信](#)
- ・薬剤安全セミナー 「投薬プロセス～配薬編～」
2月3日開催（シンポジウム形式、オンライン開催）
> [開催報告](#) / [後日配信](#)

成果・発表内容等

- ・アンケート結果
> [「投薬エラーの防止に関するアンケート 集計結果」](#)
- ・会員病院作成資料の公開・共有
> [「安全で効率的な投薬プロセスに寄与する資料」](#) 公開

総括

投薬は、医師の処方、薬剤師による処方監査や調剤、また看護師による指示受けや与薬など、多職種による複雑なプロセスから構成されている。そのため、コミュニケーションエラーや患者誤認をはじめ種々のインシデントが発生し、場合によっては患者さんに重大な結果をもたらすことがある。そこで、薬剤安全部会では今年度の検討テーマを「安全で効果的な投薬プロセス」として活動を行った。

まず、PSP 会員施設における投薬プロセスについての現状を把握することを目的としたアンケート調査を行い、つづいて二回のセミナーを開催し、アンケート調査の結果や会員施設からの取り組みの発表を行った。また、会員病院の協力により提供された貴重な情報を協議会の Web サイトから閲覧できるようにした。

自施設において、患者さんに安全で、かつスタッフには効率的な投薬プロセスをいかに築きあげるか、医療安全担当者は日々頭を捻っていることと思われる。当部会の活動がそのような方々の一助となることを期待してやまない。

(部会長・川井 信孝)